

「次世代の学びの基盤プロジェクト」中間の取りまとめ(案)について(概要)

背景

これからの世界は、一層予測が困難

AIやロボット、IoTなどの進化が浸透

ポイント

- ✓ 予測できない状況に柔軟に対応できる世界で生き抜く人材の育成が必要
- ✓ 日々進化する生成AIなどのデジタルをリアルな学びに組み合わせる取組が不可欠

「AI」や「グローバル・リーダー」の力を結集して世界で生き抜く「**自立した学習者**」を育成

- ✓ 学びのプロセスを自ら選択し決定する**自己デザイン力**
- ✓ 興味関心に応じて、**創造的・協動的**に学ぶ力

「次世代の学びの基盤プロジェクト」を展開

「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集

- ① **DXによる学びの改革** デジタルとリアルの最適な組み合わせ
- ② **教員と組織の改革** 教員の役割や組織のあり方の改善
- ③ **制度の改革** 学習内容や方法、単位の認定等の柔軟な運用

3つの改革を実施して、目指す学校の姿

日常的なAIの活用

グローバル・リーダーとの交流

学び方

生徒自身の知識や興味に応じた生徒一人一人の学び

これからの学び

教員の一言指導による学び
学校や教室の中で時間割に則った学び

これまでの学び

免許を持つ教員から教科書を通じた学び
年間で決められた時間を使う学び

専門家や企業の人材からリアルな社会課題を扱った新たな価値の学び

学習の内容と指導者

時間と場所

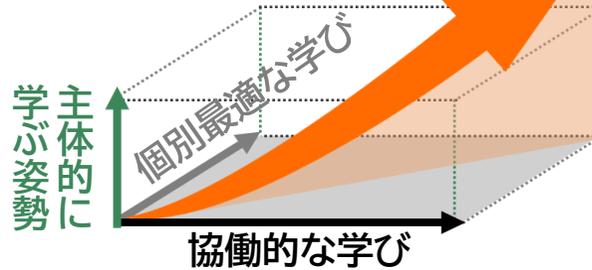
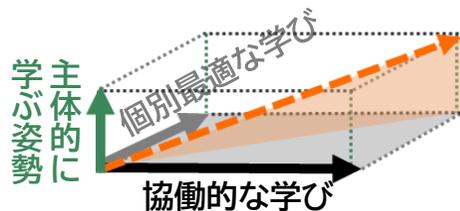
AIなどデジタルを活用し生徒自身が時間や場所を選ぶ学び

費やした時間量でなく論文やコンテストなどの成果で評価される学び

学習の成果と評価

最先端の知識を主体的に学び、AIを駆使して新しい価値を創造し、世界で生き抜く「**自立した学習者**」を育成

3つの改革(①DX、②教員と組織、③制度)で「**自立した学習者**」を育成



「**自立した学習者**」の育成

① DXによる学びの改革

- ✓ AI等で、きめ細かく高レベルな知識を提供
- ✓ デジタルツールで学ぶ時間や場所の選択を実現

「AI」 × 「グローバル・リーダー」

デジタルの教育 × リアルの教育

新たな学びを支える仕組み

- ✓ 興味関心に応じた校外のリアルの中で探究
- ✓ 実体験による教科横断的な知識の活用
リアルな教育の効果を、より一層高めるため
デジタルツールで情報共有する工夫

デジタルの教育とリアルな教育の学習状況を
AIを活用し、デジタルテストや学習管理システム(LMS)等で把握し、教育効果を高める仕組みの展開

② 教員と組織の改革

「自立した学習者」を育成する
「学び続けて、成長し続ける教員」

- ✓ 教育課程をAIやグローバル・リーダーの活用など新しい視点でデザインする力
- ✓ 生徒一人一人に伴走し、授業を計画しより効果的に実施する力

「教員のスキルアップ・プロジェクト」

大学や研究機関からの指導者等の導入

海外のグローバルで最先端の知見の活用

「学び続けて、成長し続ける教員」
が密接に連携した教育

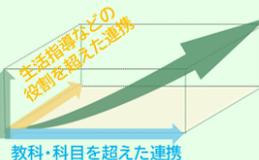
- AIを活用した授業デザイン
- 資質・能力の研究
- 新たな研修の開発
- AIやLMS等の取組の相乗効果を研究

研究

実践

- コーチング・ファシリテーション研修
- デジタルとリアルを融合した新しい授業の研修実施
- グローバル・リーダーと連携した授業の実践

組織的な
マネジメント力



③ 制度の改革

国に働きかけ、目指す学校の姿を実現

検討のポイント(例)

AI等のデジタルの仕組みの教育への反映方法、学校に通うスタイル
科目修了の単位認定の仕組み、生徒の学びの成果の評価方法
外部の専門人材活用のための免許制度 等

今後の、プロジェクトを展開する都立高校の考え方

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和11年度

中間の
取りまとめ

最終の
取りまとめ

重点的な取組の
準備・広報等

複数の都立高で重点的な取組(コース)を展開

入試 港区白金地区「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)

① DX モデル校で取組

各学校が、特色に応じて展開

② 教員と組織

教員のスキルアップ・プロジェクト

③ 制度

国への働きかけ